

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成 24 年 3 月 22 日 (2012.3.22)

【公開番号】特開 2011-142236 (P2011-142236A)
 【公開日】平成 23 年 7 月 21 日 (2011.7.21)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-029
 【出願番号】特願 2010-2498 (P2010-2498)
 【国際特許分類】

H 0 1 L 31/04 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 L 31/04 S

【手続補正書】
 【提出日】平成 24 年 2 月 2 日 (2012.2.2)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 2 2 】

請求項 9 に係る薄膜太陽電池用溝加工ツールの取付角度規制構造は、請求項 6 の構造において、ツール側角度規制部は、ツール本体の端部に形成され、溝形成方向と平行に形成された溝である。また、ホルダ側角度規制部はツール本体の端部に形成された溝に係合されるピンである。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 2 4 】

請求項 10 に係る薄膜太陽電池用溝加工ツールの取付角度規制構造は、請求項 6 の構造において、ツール側角度規制部は、ツール本体の端部に形成され、ツール本体の軸に対して傾斜する傾斜面である。また、ホルダ側角度規制部は傾斜面が当接する規制面を有する。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 5 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 5 4 】

ツール側角度規制部は、ツール本体 42 の上端部に形成された突起部 46 の傾斜面 46a, 46b である。より詳細には、ツール本体 42 の上端部は、側方から見て三角形に形成されている。すなわち、ツール本体 42 の上端部は、側方から見て、上方に行くに従って細くなっており、ベースプレート 37 側に第 1 傾斜面 46a を有し、逆側に第 2 傾斜面 46b を有している。したがって、この突起部 46 によって形成される第 1 及び第 2 傾斜面 46a, 46b は、溝形成方向に沿って延びている。なお、溝形成方向は、刃先部 44 が延びる方向でもある。

【手続補正 4】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 9】

前記ツール側角度規制部は、前記ツール本体の端部に形成され、前記溝形成方向と平行に形成された溝であり、

前記ホルダ側角度規制部は前記ツール本体の端部に形成された溝に係合されるピンである、

請求項 6 に記載の薄膜太陽電池用溝加工ツールの取付角度規制構造。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 10】

前記ツール側角度規制部は、前記ツール本体の端部に形成され、前記ツール本体の軸に対して傾斜する傾斜面であり、

前記ホルダ側角度規制部は前記傾斜面が当接する規制面を有する、
請求項 6 に記載の薄膜太陽電池用溝加工ツールの取付角度規制構造。